System-V _____ 〔F10〕〔F16〕〔F17〕 財務メンテナンスプログラム (15.5)

【取扱説明書】



目 次

[F10]データ変換

[70] 仕訳データ搬出	•••••	1
[71] 仕訳データ搬入	••••••	4

[F16]マスター登録

[995]時計の設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
[930]語句登録 ・・・・・	10
[920] 財務オプション設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・	13

[F17]特殊管理登録

[760]月別仕訳データコピー ・・・・・・・・・・・・・・	15
[796]仕訳削除データ復活 ・・・・・・・・・・・・・・・・	21
[10701] 本支店 自動振替 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・	22

Windows 子機外字一覧表



[70] 仕訳データ搬出

概 要

仕訳データ搬出は、ハードディスク内の仕訳データをコピーする為のプログラムです。 コピー先はUSBフラッシュメモリなど任意のドライブを指定することが可能です。 ハードディスクの中の容量が足りなくなった時や、他のハードディスクの中にデータを 移動させる時に使用します。

F10

複数のユーザ・年度のデータを入れることが可能です。

■ <u>財務</u> 並大表示 縫小表示	■ 1. F10 データ変換の画面を呼び出します。
<< 業務サブメニュー >> PAGE 1/2	
[F 10] データ変換 ブリンター: NPP845 [01000] UP (硬新) [00070] 仕訳データ 練出 [00071] 仕訳データ 練出 [01001] プログラム登録 [00071] 仕訳データ 練出	
[00088] バックアップ [00078] GPデータ 削除 [00188] 端末へのバックアップ [00078] GPデータ 搬出 [00078] GPデータ 搬出 [00078] GPデータ 搬出 [00080] 電子申告システム [00078] GPデータ 搬入	2. [70] 仕訳データバックアップを選択します。 を押します。
番号で選択してください。 [年度指定 ● 無 ● 有 1:FPや5次 2:27の変現 3:時7'92月 4:電源窖 5:終 7 8:入 力 7:出 力 8:補 助 8:甲 巻 [0:実 換	過年度のデータを保存する場合 プログラムを呼び出す際に「70」*」で 期首年度を指定してください。
	━ 3 コーザコードを指定すろ前に
19765メニュー **** 仕訳データ 搬出 **** 転送先 : サーバFD ユーザ: 100	は、ユーラゴートを指定する新に、 端末 (F2)を押します。
[1-9°遊夏端末[8]水ット]]終了]	
財務メニュー **** 仕訳データ 搬出 **** 転送先:端末ディスク(非暗号) ユーザ: 100 端末の格納先デバイス名は f:/sw/ です デバイス名変更は 財務メニューの [920] で行う	4. 左図の画面を表示します。 [920]で格納先デバイス名を変更すること ができます。(P.14)
[エーザ"避 隊 下 D 隊ネット 関終了]	

[70] 仕訳データの搬出



データの搬出を行ってもハードディスク内のデータは残ります。 削除する場合は、[90]仕訳データ削除を行ってください。

<u>USBメモリなどをセットしていないか、保存先の指定が違っていた場合</u>

財務メニュー					
	*** 仕訳デー	-タ 搬出	***		
		1	送送先 :	端末ディスク	(非暗号)
ユーザ:	1001 株式会社	東京商事		平成	年 4月 1日
注記ファー	イルを搬出しますが	»?[1]	1:はい	2:いいえ	
売掛買掛	ファイルを搬出しる	ド すか?[1]	1:はい	2:いいえ	
工事ファ-	イルを搬出しますた	p?[1]	1:はい	2:いいえ	
	捻纳先	のフォルダー	h:/~~/7	ふあい キャチス	
make h:/sw	ZAIMUUSE/.		11.17.5117 17	0, 7, 8, 2, 10	
1-17選図]	F D 8ネット	日終了			19 1音号化

『格納先のフォルダーがありません』と エラーメッセージを表示します。

Enter を押すとメニュー画面に戻りますので、最初からやり直してください。

保存先の指定が違っている場合は [920]から変更を行ってください。(P.14)

注意

仕訳データとGPデータを同じ格納先へ保存することはできませんのでご注意ください。 USBフラッシュメモリなどを使用する場合は、あらかじめ保存ファイルを作成して から作業を行ってください。(P.13)

[71] 仕訳データ搬入

概 要

仕訳データ搬入は[70]仕訳データ搬出を行った仕訳データ、親機で入力した仕訳データ をネットワーク経由で移行するプログラムです。 USBフラッシュメモリなど任意のドライブを指定することが可能です。 複数ユーザ・年度のデータをまとめて移行することも可能です。

F10

 ■ 財務 並大表示 縮小表示 		
<< 業務サブメーュー >>	PAGE 1/2	1. [F10] テータ変換の画面を呼び出します。
<u>[F10] データ変換</u> [01000] UP (更新) [01001] プログラムS録	ブリンター: NPP845 [00070] 仕訳データ 操出 [00071] 仕訳データ 操入	
	[00076] G P データ 削除 [00078] G P データ 操任 [000791 G P データ 操A	ᇬᇉᇪᇍᄮᅼᇏᆕᆞᄼᆆᇞᆳᆇᅄᇏᄱᆝᆂᆂ
[00880] 電子申告システム		2.[71] 11訳テーダ版八を選択します。 [71] Enter] を押します。
番号で選択してください。	年度指定 ● 無 ○ 有	
1:FP午次へ 2:200歲廣 3:財7'909 4:電源管 5:終了 (3:入 力 7:出 力 8:補 助 8:申 告 6:波 換	
財務メニュー		3. 左図の画面を表示します。
**** 仕訳データ 廉人 ホスト名[] パスワード[]]		」端末」(F2)を押します。
<u>F1 F2 F3 F4 F</u> F D1 端末 エラーログ 終・	5 F6 F7 F8 F9 F10 HOME	
<u>財務メニュー</u> **** 仕訳データ 搬入 ホスト名[f:/sw/] パスワード[]	**** デバイス名変更は財務メニューの[920]で	4.U S B メモリなど[70]でデータを保存した メディアをセットし、 Enter を押します。
**** 端末 f:/sm/ 	セットして ENTER ****	
滴 不 エァ∽ログ 終・	nume	



データの搬入を行っても、データはそのままUSBフラッシュメモリなどに残ります。

コピー先にデータが存在していた場合



コピー元のデータの番号を調べる場合



ネットでの搬入方法 親機双方に相手のアドレス登録が必要です。 1. F10 データ変換の画面を呼び出します。 拉大表示 縮小表示 次頁 | << 業務サブメーュー >> PAGE 1/2 2.[71] 仕訳データ搬入を選択します。 [F10] データ変換 NPP845 #y:~#-: [01000] UP (更新) [01001] プログラム登録 [00070] 仕訳データ 搬出 [00071] 仕訳データ 搬入 |71 || Enter | を押します。 <u>[00089]</u> バックアップ [00189] 端末へのバックアップ [00076] GPデータ 削除 [00078] GPデータ 搬出 [00079] GPデータ 搬入 [00880] 電子申告システム 番号で選択してください。 年度指定 ●無 ○有 FPF-沈へ 2:77/380第 3:前7*929 4:電源管 5:終了 6:入力 7:出力 8:補助 3:申告 10:変換 財務メニュー 3. 左図の画面を表示します。 *** 仕訳データ 搬入 ++++ 左図の画面を表示しない場合は 終・HOME (F5) ホスト名.....[172.16.1.100] パスワード...[を押します。 親機に設定されているIPアドレスを 入力します。 (通常、172.16.1.100です。) パスワードは Enter で飛ばします。 <u>F1 F2 F3 F4</u> FD|端.末|エラーロブ| 財務メニュー 4. 左図の画面を表示します。 *** 仕訳データ 搬入 *** ホスト名.....[] パスワード...[] 5. ユーザコード・年度を指定します。 ユーザー コード...[] 年 度...]] 範囲指定する場合はP.5を参照してください。 <u>F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10</u> エラー継続| エラーロナ⁵ | 線・HOME|全指定| |未転送|相手| 6.コピーが始まると左図の様に [*** ファイル コピー***]と表示します。 **** ファイル コピー *** データが多い場合は完了するまでに、 時間がかかりますのでお待ちください。 7.コピーが正常に終了すると ***** コピーを終了しました ***** 所要時間 秒 [*** コピーを終了しました ***]と表示 しますので、 k・HOME (F5)を押します。

[995]時計の設定

概要

マルチWin端末を起動した際に、「ホストと時計が 秒ずれています」とメッセージを 表示することがあります。このメッセージを表示しましたら、[OK]をクリックし、 以下の手順で時刻の修正を行います。



✓ プログラム群選択メニュー > ブリンター: NFP880 [F4] 電 渡 管 理 [F0 G 登録 & 入力 [F7] 帳 表出力 [F7] 帳 表出力 [F8] 補助を比較等出力 [F9] 申告・個人・分析 [F10] データ変換 [F10] データ変換 [F10] データ変換	
番号で選択してください。 年度指定 ●無 ○有 1:5PP-次へ 2:209歳第 2:807999 4:電源音 5:終 7 8:入 7) 7:出 7) 8:補 助 3:甲 各 10:変 換	
■ 財務	
<u>抵大表示</u> 	2. <u>F16</u> ~ <u>F20</u> の画面を表示します。
< プログラム難選択メニュー > ブリンター: NPP860	
[F12] 履歴の表示 第1000 [F16] マズ女登録の変更 端末便用状況 [F17] 特殊管理登録 [F19] 旧GF申告プログラム [F20] 財務全体管理 [F20] 財務全体管理	
音号で選択してください。 ■ ■ 年度指定 ④無 ○育 1:FP4-前へ 2:版 歴 5:M 7 9:720変更 7:特 殊 9:旧PG 10:答理	
■ 財務 v15 pts/14	
142人表示」 1871表示。 << 業務サブメニュー >> PAGE 1/1	3. <u>F6</u> マスタ登録の変更 の画面
_ [F16] マスタ登録の変更 アリンター: NPP860 	を呼び出しまり。
[00900] Unix 3he11 [00910] パスワード登録・変更 [0094] ユーザー実行権限表示 [00936] 時計の設定 [00936] 暗号ダウンロード [00937] ログイン制限 [00940] 外部からのメンテナンス	
番号で選択してください。 [] 年度指定 ⊙無 ○有	4. [995] 時計の設定 を選択します。 995 Enter を押します。
1:FP4-前人 2:履 歴 5:終 了 8:72恢更 7:特 殊 8:旧PG 10:管理	

5. 左図の画面を表示します。 パスワードはすでに表示されているので、 このプログラムは時計の調整用です。むやみに実行しないで下さい 実行するならroot のパスワードを入れてください Enter|を押します。

> 6. 左図の画面を表示しますので、 そのままお待ちください。

🗌 timeaj (root) 拡大表示 縮小表示 時計あわせ 設定される時刻 2012年 03月 05月 14時 50分 40秒 2012/3/5 14:50:31 設定時刻入力 2012/03/05 14:50:03 = 000 153.243.237.35 (nto tand ne 2012/03/05 14:50:02 = 0 mm 0.0.0.0 fmp-Term) 2012/03/05 15:50:02 Lowest 0.0.0.0 (no-Term-Summer) 2012/03/05 14:50:04 = 000 172.16.134.52 (v82) 2012/03/05 14:50:02 = **** 172.15.134.15 (v15) 2012/03/05 14:50:01 1000 172 16.134.11 (011) 2012/03/05 14:50:06 = ***** 172.16.131.26 (okan) 2012/03/05 14:50:03 = 0 MM 172.16.201.1 (w) 2012/03/05 14:50:03 20MH 172.16.201.2 (m/2) 2012/03/05 14:50:03 Exmat 172 16.201.200 (1x200) 5:終了 7:中止

財務メニュ

password... 🛙***

時計あわせ

内部時計の設定を行います。

21日かり1~20~20年間では合わせる事ができません。 このプログラムでは1~2秒単位までは合わせる事ができません。 インターネット常時接続環境がある場合はNTPを使って下さい 故意に時刻を狂わせないように

端末からその時刻を読みとって設定できる場合もあります

設定 設定時刻入力欄を書き換えるとその時刻が上の設定される時刻に移動します。 F5更新 にて最上行の設定される時刻で内部時計を変更します。

7.「時計あわせ」の画面を表示します。

[設定時刻入力] 変更したい時刻が一覧に表示されていない 場合、手入力して | Enter | を押します。

[外部の時計に合わせる] 一覧に変更したい時刻が表示されている場合 該当箇所の「この時刻」をクリックします。

8. [設定される時刻]が変わりましたら、 |終了|(F5)で画面を閉じてください。

[930] 語句登録

概 要

仕訳入力で使用する特別な熟語や、変換しづらい語句をあらかじめ登録しておき、摘要の 入力をよりスムーズに行えるようにするためのプログラムです。 登録を行った語句は、仕訳入力のみ呼び出すことができます。 (その他のプログラムでは使用できません。)

F16

■ 枳長 v15 p15/14 拡大表示 縮小表示 くく 業部サブメニュー >>	PAGE 1/1	1. F1 + F6 マスタ登録の変更 画面を 表示します。
_ [F16] マスタ登録の変更 [00004] ユーザー実行権限表示 [00085] 時計の設定 [00086] 暗号ダウンロード [00087] ログイン制限	プリンター: NPPR60 [000300] 譜句登録 [000900] Unix Shell [000910] パスワード登録・変更 [000920] 財務オプション+設定 [000940] 外部からのメンテナンス	2. [930] 語句登録を呼び出します。 930 Enter を押します。
番号で遊択してください。 [IFPF+新へ 2:版 度] 5:10 了	年度指定 ●無 ○有 9:220天夏 7:音 雅 8:18 PG 19:音 理	

語句登録の登録方法		
	1.	左図の画面を表示します。 <u>カナ検索</u> (F9)を押し、登録する文字の 1 文字目を半角カタカナで入力後、 <u>Enter</u> を押します。
700 Y P01E7 台 7999 浅車 パサンド 麻布 アンド 麻布 アンド 亜維亜 アズ 104×0 円 90 金 アズ 104×0キシ 預り 保証金 アズ 104×0キシ 預り 保証金	2.	入力 (F1)を押します。
73、264/ 預行入 79%295490 圧縮記帳 77757%3 油紙 79954 有田焼 7995%1 有高	3.	登録する語句の読み仮名を半角がかがで入力し Enter を押します。
F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F3 F10 人 力, 除訂 正 終 了 ブリント 前 頁 次 頁 加 検索) クリア		例) アイツ Enter
	4.	例) 会津 Enter
	5.	登録が終わりましたら、 終了 (F5)を 押します。
入力・削除・訂正したものを書き込みますか?(1:Yes 2:No)・・・ F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 入力 創 除 訂 正 終 了 7切가 前 頁 次 頁 財 検索 クリア	— 6.	左図の画面を表示します。 書き込む場合は、 <u>1.Yes</u> 書き込まない場合は、2.No」を押します。

[930]語句登録

語句登録の訂正方法



語句登録の削除方法

財務メニュ=(1001) 7.4ッ [°] 会達 語句登録 ◆◆◆ (V-1.00) 7.4 / ロビッグ・ゴウソ+ 青色専従者 7キカン 空缶 7キカ 秋葉 7モン 空ビン	 左図の画面を表示します。 <u>カナ検索</u>(F9)を押し、訂正する文字の 1文字目を半角カタカナで入力後、Enter を押します。
7功7 7功79 7977 「東京 7977 東森市 737 737 737 1040 737 1040	2. 削除 (F2)を押します。
イスパルボンがなる プスペルジがからつわっ デスペルン デスペルン 預け入 アッシュンギディカ 正緒記帳 アンデカ デン 加紙 アリシャキ 有田焼 アリシャ す 有高	3. 削除する語句に でカーソルを 合わせて、 Enter を押します。
<u>F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10</u> 入力(創一論)訂 正 終了」7つい」前 頁 次 頁 財 検索 クリア	
削除してもよろしいですか?(1:Yes 2:No)・・・	4. 削除する項目が反転し、削除してもよいかの 対話を表示します。
	── 削除する場合は <u>1.Yes</u> 削除しない場合は <mark>2.No</mark> を押します。
	5. 削除が終わりましたら、 終了 (F5)を 押します。
入力・削除・訂正したものを書き込みますか?(1:Yes 2:No)・・・ F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 入力 前 除 訂 正 終 了 プリント 前 頁 次 頁 け 検索 クリア	-6. 左図の画面を表示します。 書き込む場合は <u>1.Yes</u> 書き込まない場合は 2.No を選択します。

[930]語句登録

語句登録のプリント方法



- 1. 左図の画面を表示します。
 プリント (F6)を押します。
- 2. 左図の対話を表示します。

ページプリンタの場合はA4コピー用紙 ドットプリンタの場合は11×11モニター用紙 をセットし Enter を押します。

*** 語句登録リスト	***	
ふりがな アイツ アイレゼンシュンシャ アキカン アキカン アキレ アサカッヤ アサウッヤ アサッマ アン、カリキシ アス、カリキシ アス、カリキシ アズ、カリキシ アズ、カリキシ アズ、カリキシ アズ、カリキシ アズ、カリキシ アズ、カリキシ アズ、カリキシ アズ、カリキシ アズ、カリキシ アズ、カリキシ アズ、カリキシ アズ、カリキシ アズ、カリキシ	語会青空秋空阿浅麻亜預預預預圧油有句 津色缶葉ビ佐草布細りりり汁縮紙田 の 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	

語句登録を初期値に戻す方法

財務メニュー(1001)	
 →→ 語⁴ →→ 言色專従者 →→ 空伝 →→ 空伝 →→	7登録 ◆◆◆ (₩-1.00)
soku_file を削除してもよろしいですか? F1 F2 F3 F4 F5 入力 削 除 訂 正 終	?(1:Yes_2:No)・・・2 F6_ <u>F7_F8_F9_F10</u> 了 _プソント 前頁 次頁 が 検索 _クリア

- 1. 左図の画面を表示します。
 クリア (F10)を押します。
- 2. 左図の対話を表示します。

初期値に戻す場合は	1. Yes
初期値に戻さない場合は	2. N o
を選択します。	

[920]財務オプション設定

財務オプション設定は、仕訳データなどをUSBフラッシュメモリなど任意のドライブを 保存先に設定するため使用するプログラムです。端末ごとに設定することが可能です。 [70]仕訳データ搬出・[71]仕訳データ搬入・[78]GPデータ搬出・[79]GPデータ搬入 などのデータの保存先を財務と税務(GP)に分けて保存ができるようになっております。

GPデータ等をUSBフラッシュメモリや外付ハードディスクなどに保存する場合 以下の作業をあらかじめ行っていただく必要があります。

保存先のドライブにあらかじめフォルダを作成 - Windows側での作業

- 1. コンピュータをクリックします。
- 2. リムーバブルディスクなど任意のドライブをクリックします。
- 3. USBフラッシュメモリ内に、財務(仕訳)データ保存用フォルダと税務(GP)データ 保存用フォルダを作成します。



保存先を指定 - System-V・LX側での作業

財務 v15 pts/14	
越大表示 縮小表示	
<< 業務サブメニュー >>	
	PAGE 1/1
[F 16] マスタ登録の変更	プリンター: NPP860
	[00930] 語句登録
	[00000] II
	[00000] Unix Shell
	[00910] パスワード登録・変更
[00994] ユーザー実行権限表示	[00920] 財務オプション設定
[00335] 時間の設定 [00998] 暗号ダウンロード	[00940] 外部からのメンテナンス
[00997] ログイン制限	
番号で選択してください。	牛度指定 ● 無 ○ 有
FD+ #*** 0.000 EE	A STATE ALL ALL ALL ALL ALL ALL ALL ALL ALL AL

ļ

- 1. F1 + F6 マスタ登録の変更 画面を 表示します。
- [920] 財務オプション設定を呼び出します。
 <u>920</u> Enter を押します。
- 3.「財務オプションの端末ごとの設定」画面を 表示します。
- 4. データの保存先を指定します。

■ 00:財務オブション)設定(dev/pts/33)	
拡大表示	· 循小表示	
	財務オプションの端末ごとの設定 V-1.16	5. 保存先が F ドライブの場合
	端末のFD装置名 a:/ (A:/など¥ではなく/で記述) 財務データの場合 f:/sw/ CA:/など¥ではなく/で記述) C.Pデータの場合 f:/sw/ (A:/など¥ではなく/で記述) C.Pデータの場合 f:/sw/ (A:/など¥ではなく/で記述)	財務(仕訳)データの場合 f:/sw/
	UNIX辞書使う 2 UNIX辞書使う 2 1:使う 2:使わない 元帳両面の余りページ 1 1:白紙 2:罫線のみの印刷 ファイル転送 2 1:直接 2:別接続 3:チェック 1 5:日本 2:デェック 1:日本 2:不要 1:日本 2:ア 日本 2:ア 日本 2:ア 日本 2:ア 日本 2:ア 日本 2:ア	── 税務(GP)データの場合 <u>f:/gp/</u> と入力します。
	助務(第二→~····································	6. 指定が完了したら [終了](F5) を押します。

保存先の設定は、各端末ごとに行ってください。

................

[760] 月別仕訳データコピー

月別仕訳データコピーは、別のユーザコードに仕訳データ・科目登録・補助登録・ 摘要登録をコピーするプログラムです。

科目登録は、平成18年会社法データ、平成14年商法データ、平成14年以前商法(旧)データ の同一種類のデータにしかコピーできません。

F17

((注)同一種類のデータとは、[1]申告情報登録で画面右端に表示される(18)・(14)・(旧)のことです。 又、法人・個人が違っていてもコピーができません。)

仕訳においては、任意の条件を指定してコピーができるほか、指定した月のデータを 相手先の内容は関係なくまるごとコピーすることができます。

拡大表示 縮小表示 << 業務メインメニュー V >> << ブログラム群選択メニュー > フリンター: NP850 [F 6] 電 源 管 理 [F 7] 帳表 出力 [F 7] 帳表 出力 [F 8] 補助念比較等出力 [F 9] 申告・個人、分析 [F 10] データ変換	1. F1 F P キー次へ を押します。
番号で選択してください。 年度指定 ●無 ○有 I:FP+:水<2:200歳第 3:807929 4:電源音 5:86 7 8:入力 7:出力 8:浦 85 8:甲 6 10:五 点 USA 「日本 「日本 <th>2. <u>F16</u> ~ <u>F20</u> の画面を表示します。</th>	2. <u>F16</u> ~ <u>F20</u> の画面を表示します。
番号で選択してください。 年度指定 ○無 ○有 15FR+新へ 2:個 度 5:M 7 6:20万度 7:特 株 9:10 PG 10:板 程 基礎 4次表示 除小表示 法真 4次表示 法真 7 FACE 1/2	3. F17 特殊管理登録 の画面 を呼び出します。
[F17] 特殊管理登録 アンクニ・ NP845 [00701] 単倍情報登録(非銀行管理) [00790] 推載ウェーク別 強制置換 [00792] 接動ケーク別 強制置換 [00780] 補助ウェーク別 強制置換 [00780] 相助ウェーク別 強制置換 [00780] 月別仕訳データコピー [00787] GF自聯データの復活 [00797] GF自聯データの復活 [00797]	4. [760]月別仕訳データコピーを選択します。 を押します。
田々で地かいしていたです。 1 1000 - 牛皮耳ル ご用 1100-1 10-110-110-110-110-110-110-110-1	

[760]月別仕訳データコピー

財務メニュー		
*** 月別仕訳データコピー ***		
コピー元: ユーザ[1001] 年度[]		
	(*) (*)	
期首年月日	9.909 - 9.909	
1. 仕訳データコピー		
2. 補助データコピー		
3. 自動摘要データコピー		
4. 科目データコピー		
処理種別[]		
F1 F2 F3 F4 F5 F6	F7 F8 F9	F10
	目NO	件数

- 5. 左図の画面を表示します。
- 6.コピー元のユーザコードと年度を指定します。
- 7.コピー先のユーザコードと年度を指定します。
- 8.処理種別を選択します。

仕訳データをコピーする場合 1.仕訳データコピー 銀行及び一般補助登録をコピーする場合 2.補助データコピー 摘要をコピーする場合 3.自動摘要コピー 科目をコピーする場合 4.科目データコピー を選択します。

各データのコピー元とコピー先の件数を 確認する場合は、(件数)(F10)を押すと 確認することができます。

$\begin{array}{c c c c c c c c c c c c c c c c c c c $	月別仕訳	データコピー 1001:株式会	*** ***	1 1001:株式	公社 東京商車	
1.1 0 0 0 1.1 0 5 4 2.1 0 0 0 2.1 0 <td< th=""><th>仕訳1</th><th>1日 1日 7日 7日 7日 7日 7日 7日 7日 7日 7日 7</th><th></th><th>計 月日 次子 0期首 0 4.1 0 5.1 0 6.1 0 7.1 0 8.1 0 9.1 0 10.1 0 11.1 0 12.1</th><th></th><th>合計 4 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0</th></td<>	仕訳1	1日 1日 7日 7日 7日 7日 7日 7日 7日 7日 7日 7		計 月日 次子 0期首 0 4.1 0 5.1 0 6.1 0 7.1 0 8.1 0 9.1 0 10.1 0 11.1 0 12.1		合計 4 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
	補助	1.1 2.1 3.1 初末 4	0 0 0 0 0 0 50 20	0 1. 1 0 2. 1 0 3. 1 0 期 末 50 420	0 5 0 0 0 0 51 420	51 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0

1.仕訳データ北°-

【 ■ … 指定した月の伝票を現在入力してあるデータはそのまま残し、追加で伝票を コピーする方法又は、まとめてコピー先にコピーすることが可能です。 (コピー先に仕訳が入力してあった場合は削除し、データを上書きします。)

財務メニュー	『1.仕訳データコピー』を選択しますと
** 月別仕訳データコピー ** コピー元: コーザ[1001] 年度[平成] 株式会社 東京商事 TAC	左図の画面を表示します。
コピー先: コーザ[1001] 年度[平成] 株式会社 東京商事 TAC 期首年月日 平成 . 4.1	仕訳データコピー
 (1) 住訳データコピー (1) 一部データコピー(既存データ追加) (2) 全データ書き換え 処理種別[1] 	(1)一部データコピー(既存データ追加) コピー先のデータは削除せずに仕訳データ を追加します。
<u>- F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10</u> 「アンマッチ」 終・HOME 確定 項目NO 件数	(2) 全データ書き換え コピー元のデータをコピー先に月単位で コピーします。 (コピー先の仕訳データは削除します。)

(1)一部データコピー	
財務メニュー	
** 月別仕訳データコピー **	
コピー元: ユーザ[1001]年度[平成] 株式会社 東京商事, 1	TAC
	TAC
<u>1. 仕訳データコピー</u> コピー元: 1日 [4] (4/1~4/30)	
2.伝票No 101 1 2.伝票No[101 3. 3.科目コード.[] 銀行補助[] 1.借方 2.貸:	方 3.両方[3]
4.相手コード.」 」銀行補助[」 5.金額[】 1.借友 2.覚	友 3.両方[3]
0.代顔 7.税マーク[],[],[],[],[],[],[]].[],[]].借方 2.貸	方 3. 画方[3] 方 3. 両方[3]
8.補助コード{[-][-][-][-][-][-][-][-	:]}]
コピー先: 10.月[4] (4/ 1~ 4/30)	
仕訳データコピーを行いますか?[] 1:はい 2:いいえ <u>F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8</u> [7)マッヲ 終・HOME 確 定 項目N0	
仕訳データコピー中 月期(01) F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 - - - アンマッチ 終・HOME 確定 項目NO -	F9 F10 件数

(2)全データ書	き換え	č.		
財務メニュー				
** 月別仕訳データコピー	**			
コピー元: ユーザ [1001]:	年度[平成]株式会社	東京商事	TAC
コピー先: コーザ [1001]:	年度[平成	期目午月日]株式会社 期首年月日	平成 .4.1 東京商事 平成 .4.1	TAC
1. 仕訳データ全コ	E			
コピー元:月	[4]	(4/ 1~	4/30)	
コピー先:月	[4]	(4/ 1~	4/30)	
仕訳データコヒ	ーを行いま	ミすか?[]	1:はい 2:いいえ	4
F1 F2 F3 J	F4 F5 終・H	F6 OME I 確定	<u>F7 F8</u> 1項目N0	F9 F10
	135 44		445303991	

コピー先にデータがあった場合

		ġ	コピー先	ぶに41件デー	-タがあ)	ります !!			Ĩ
F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9	F10
		1.7497		₩S. UMF	唯疋	-現日110		I	†
	Ĩ.	カたト書。	¥ो ± तं	* E&Do	ですわり	[]1.	เป็นรัฐบ	<u>)</u> 	
P1		アセム目の	ти ги	R D U V	E9 M.1.	[] I.	E0	E0	E10
		「ひ 「アンマッチ」	г4	ro 終・HOME	確定	」 項目NO	10	61 I	件数

1部データコピーを選択すると左図の画面を 表示します。

- 1) コピー元のデータの条件を選択します。
- 2) コピー先の月を指定します。
- 5) 左図下の対話を表示します。
 コピーを行う場合は、1.はい
 コピーしない場合は、2.いいえ
 を選択します。
- 4) コピーが始まりますと [仕訳データコピー中] と表示します。
- 5) コピーが終了すると、コピー元の月に カーソルが戻ります。

全データコピーを選択すると左図の画面を 表示します。

- 1) コピー元の月を指定します。
- 2) コピー先の月を指定します。
- 5) 左図下の対話を表示します。
 コピーを行う場合は、1.はい
 コピーしない場合は、2.いいえ
 を選択します。
- 4) コピーが終了するとコピ-元の月に カーソルが戻ります。
- 1) 左図の画面を数秒表示します。
- 2) データを上書きしてよいかどうかの対話を 表示します。

上書きしてよい場合は、1.はい 上書きしてはいけない場合は2.いいえ を選択します。

上書きしてはいけない場合は [1.一部データコピー]を選択してください。



... 銀行登録及び一般補助(売掛・買掛管理や部門管理・工事別管理)のデータを コピーする機能です。銀行補助のみ、一般補助のみ、一般補助の全データ 書き換え、一般補助のコピー元とコピー先のデータを比較し、違うデータ のみをコピーすることが可能です。







… 摘要登録のデータをコピーする場合に使用します。全データ書き換えと コピー先とコピー元のデータを比較し、違うところのみをコピーする 機能があります。

*** 月別仕訳データコピー ** コピー元: コーザ[1001] 年度[平成] 株式会社 東京商事 期首年月日 平成 4.1 コピー先: ューザ[1001] 年度[平成] 株式会社 東京商事 期首年月日 平成 4.1	TAC TAC
 3. 白勤稍要データコピー (1) 一部データコピー(既存データチェック) (2) 全データ書き換え 処理種別[1] 	
F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8	F9 F10

財務メニュー	
** 月別仕訳データコピー **	
コピー元: コーザ[1001] 年度[平成] 株式会社 東京商事	TAC
	TAC
3.白動摘要データコピー	
(1) 一部データコピー(既存データチェック) (2) 全データ書き換え	
処理種別[1]	
白新協調ゴ、カー1%、さないチャナムの 「 】 1・フ+1、 のいいころ	2
<u>F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 1</u> アンマッチ 終・HOME 確定 項目N0	<u>F9 F10</u> 件数
	10 %

『3.自動摘要データコピー』を選択すると 左図の画面を表示します。

自動摘要データコピー

- (1)一部データコピー(既存データチェック) コピー元とコピー先の登録内容を確認し、 コピー先にない摘要をコピーします。 借方・貸方科目及び摘要の文字全てが 一致するものを同一データとみなします。
- (2) 全データ書き換え コピー元の摘要登録を全てコピー先へ コピーします。コピー先に登録してある 摘要は全て削除します。

左図の画面を表示します。

- コピーを行いますか?と表示します。
 コピーする場合は、1.はい
 コピーしない場合は、2.いいえ
 を選択します。
- 2) コピーが終了しますと処理選択に カーソルが戻ります。

[760]月別仕訳データコピー



. 科目登録にて登録したデータをコピーします。全データの指定及び任意の 科目コードのみをコピーすることもできます。

法人 個人、個人 法人、会社法 14年商法又は旧商法、 旧商法又は14年商法 会社法へのコピーはできません。

(同一種類のデータのみコピー可能)

** 月別仕訳データコピー **		
コピー元: ユーザ[1001] 年度[平成] 株式会社 東京商事	TAC	
期目年月日 平成 . 4.1 コピー先: コーザ[1001] 年度[平成] 株式会社 東京商事 期首年月日 平成 . 4.1	TAC	2
4. 科日データコピー		
明細、略称、短縮明細をコピーします。		
処理科目 [1-9999]		
科目データコピーを行いますか?[] 1:はい 2:いいえ	ē	
F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8	F9 F10 日在 教徒	
/ / Y / / IVAL 唯 正 項日NU	口牛 奴	

- 1)『4.科目データコピー』を選択すると左図の画面 を表示します。
- 2)処理科目にコピーする科目を入力します。
 1科目ずつ又は一部範囲指定又は全コピーとなります。

全データをコピーする場合は、<u>Enter</u>を 押すと左図のように[1 - 9999]の指定になり ます。

- 3) コピーを行いますか?と表示します。 コピーする場合は、 1.はい コピーしない場合は、2.いいえ を選択します。
- コピーが終了しますと処理科目にカーソルが 戻ります。

[796] 仕訳削除データの復活

●概 要

[11] 仕訳入力で入力したデータを削除した場合、復旧させるプログラムです。 削除したデータは同一年度・ユーザの仕訳データであっても、ユーザコード・年度・時間 を表示しているので、任意のデータを指定して復活させることが可能です。 また、削除者名も確認することができます。





- 21 -

F17

[10701] 本支店 自動振替プログラム

概要

・本支店間(支店間も含む)の仕訳入力において、自動振替を実行すると本支店ごと (支店間ごと)に本支店勘定を自動に振り替えることができるプログラムです。 F17

- ・ 会社登録、補助登録、合併の設定等予め準備しておく必要があります。
- 自動振替用の仕訳にて消費税マークを使用した場合は、自動振替を行った後に 本支店勘定の仕訳をチェックする必要があります。
- [38]消費税自動精算を実行する場合は、自動振替を行った後に行います。
 税分離入力には対応していません。自動振替が出来ませんので注意してください。



入力手順

前準備

- [1]申告情報登録
 本店・支店ごとの登録を行います。
 ユーザーコードは4桁まで使用できます。
 4桁以上の桁数は対応していません。
- 2.[3]補助登録

自動振替で使用する本支店を補助コードとして登録します。 必ずユーザーコードと同じ番号の補助コードを設定します。

番号が違うと自動振替が行えません。

例)ユーザーコード 補助登録 1 本社 の場合 0001 本社 と登録します。

また、借方科目用に[+1]、貸方科目用に[-1]の補助登録を行ってください。

- 3.合併の設定 財務管理者設定から[998]財務使用者設定プログラムで設定をします。 メニューにないときはマウスの右クリック ログインから実行します。
- 4.本支店自動振替の設定 使用している本・支店ユーザーコードを対照ユーザーコードとして設定します。 代表するユーザーコードには合併用コードを指定しないでください。

実行作業

- 1.[11] 仕訳入力で本支店自動振替用仕訳データの入力を行います。
- 2. [10701]本支店 自動振替の4.実行を行います。
- 3.消費税伝票がある場合[11]仕訳入力の「3.条件選択リスト」で本支店科目コード (初期値は131)を指定して消費税マーク等の確認を行います。
- 4.[38]消費税自動精算 を実行します。(月次・年次消費税処理をしている方のみ)

前準備

1.[1]申告情報登録

本店・支店ごとに登録を行います。

F5 終・HOMF

ユーザーコードは必ず4桁以内にしてください。それ以上の桁数では補助登録ができません。

	1 F6 啓録&λ力の画面を呼び出します
拉大表示 缩小表示	
< (業務サブノニュー >>> [F 6] 登 録 & 入力 ブリンテー: NPP045 [00001] 申告情報登録 [00080] 任訳データ問除 [00081] 任訳データ補正 [00002] 科目登録 [00086] 指討自勤鋳越 [00086] 期討自勤鋳越 [00007] 科目コード表 [00088] ユーザリスト [00011] 任 訳 入力 [00088] ユーザリスト [000783] 月次データロック 番号で選択してください。 年度指定 ①無 〇有	2 . [1]申告情報登録を選択します。 <u>1 Enter</u> を押します。
15FP4-2xx 2222222222222222222222222222222222	2 ユ _ ボユ _ ドをおつ ます
** 甲音情報登録 ** ユーツ・003000 半社	3.ユーリコートを指定します。
[期首年月日]平成 . 4.1]第 1期 決算月数]12]種別]法人 科目 TAC (18)	_ ユーザコード 」 Enter 」を押します。
法 人 名(株式会社 東京商事 本社 法人名(カナ) ホンシャ 所 在 地101-0031東京都千代田区東神田1-2-3 	ユーザーコードは1~9999までの4桁以内で 設定してください。5桁以上の場合補助登録が 設定できなくなります。注意してください。
	4.設定が完了したら、 <u>終・HOME</u> (F5)で 終了します。 各本店・支店ごとに設定を行います。

F10

2.[3]補助登録

自動振替で使用する本支店を補助コードとして登録します。 必ず、会社コード=補助コードで設定してください。コードが違うと集計されません。 各店舗ごとに設定が必要です。 設定をコピーする場合は [760] 月別仕訳データコピーで実行してください。

拡大表示 縮小表示 << 業務サブメニュー >> PAGE 1/1 [F6]登録&入力 プリンター: NPP845 [00001] 申告情報登録 [00002] 科目登録 [00090] 仕訳データ削除 [00091] 仕訳データ補正 補助等給 [00004] 自動摘要登録 [00095] 期首自動繰越 [00007] 科目コード表 [00010] 期 首 入 力 [00011] 仕 訳 入 力 [00099] ユーザリスト [00795] データシークレット [00798] 月次データロック 番号で選択してください。 年度指定 • 魚魚 • 有 次へ 2:??) 資源 3:財プソンタ 4:電源管 5:終了 6:入力 7:出力 8:補助 9:申告 10:変換





- 1. F6 登録&入力の画面を呼び出します。
- 2.[3]補助登録を選択します。
 - 3 Enter を押します。

- 3.ユーザコードを指定します。 「ユーザコード」Enter」を押します。
- 4.補助コードはユーザーコードと同じ番号 (4桁)にします。同じ番号にしないと 集計されませんので注意してください。 (ユーザーコードが1の場合、補助コードは 0001と登録します。)
- 5.借方科目用[+1] 、貸方科目用[-1]は 振替用仕訳で使用しますので必ず登録します。
 - 6.登録した内容を他の本支店ユーザーコード にコピーする場合は [760] 月別仕訳データ コピーで実行すると便利です。
 - 7. F17 特殊管理登録の画面を呼び出します。
 - [760] 月別仕訳データコピーを選択します。 [760] Enter] を押します。

[10701] 本支店 自動振替



13.コピー終了後処理選択にカーソルが戻ります。

3.合併の設定

財務管理者設定から合併元ユーザーの設定を行います。

LOGIN	1.マウスを
Togin. 200 Password: Last login: Fri Apr 6 10:38:42 from Welcome to Turbolinux. [z00@sta01 z00]\$ z_tmenu	2.メニュ- (「財務管
	3.左図の画 Passwor
	[z00@

- 1.マウスを右クリックします。
- 2.メニューの中から「財務管理者」を選択します。 (「財務管理者」がない場合は次頁を参照)
- 3. 左図の画面が表示されます。
 - assword: <u>z00</u> <u>Enter</u> (z00は画面に表示されません。)
 - [z00@ z00]\$ <u>z_tmenu</u> <u>Enter</u> と入力します。

[10701] 本支店 自動振替





4.本支店自動振替の設定

本支店勘定を自動で振り替える為に代表するユーザーコードを設定します。 代表するユーザーコードには<u>合併用ユーザーコート^{*}を指定しない</u>でください。

	1 F17 特殊管理登録の画面の2ページ日を
<u>抵入表示</u> 「「「「」」 「「」」 「「」」 「」」 「」」 「」」 「」	
PAGE 2/2 [F17] 特殊管理登録 アリンクー: NPP645 [10701] 本支店 自動振答 [10002] 科目登録 (特殊税区分) [10007] 科目コード表(特殊税区分) [10037] 消費税精算表(特殊)	F1 F7 を押し、 PageDown (後頁)キー を押します。
[10040] 課税区分集計表(特殊) [10792] 油原用マック滞後(純殊)	
	2.左図の画面を表示します。
	3.[10701] 本支店 自動振替を選択します。
番号で選択してください。[] 年度指定 ●無 ○有	<u>10701</u> Enter を押します。
1:PP-前へ 2:服 歴 5:終 7 6:220変更 7:特 殊 \$:旧PG 10:管 理	
財務メニュー 本支店 自動振替 	- 4. 代表するユーザーコードを入力します。 合併用コードは指定しないでください。
代表する ユーザーコード: 3000 ●株式会社 東京商車	
1:設定 2:チェック 3:チェック(印刷) 4:実行 5:実行(印刷) 6:全履歴 7:全履歴(印刷) 8:履歴検査 9:履歴検査(印刷) 選択 2	例)合併用コード 3000 × 本社コード 3001 吉店コード 2002
対照ユーザーコード 設定されていません	
	5.選択で「1:設定」を選択します。 を押します。
F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 プ・切替 終 ブ 料目替	
財務メニュー 関連するユーザー登録 [3001] [3002] [3003] [3004] [3005] [3006] [3008] [3009]	6.関連するユーザー登録へ合併で設定した 合併コード以外ユーザーコードを入力します。
	代表するユーザーコードで指定した ユーザーコードも入力します。
	1 - b (F2)
	コードを番号順に並び替えます。
	中止 (F3)
	登録を中止して元の画面に戻ります。
F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 ソート 中止 (終了) (終了) (終了) (※) (※) (※)	▼ 7.設定が完了したら 終了 (F5)を押します。

科目替 (F9) について

本支店勘定で使用する科目コードの変更を行います。 <u>初期値は131です</u>。変更がある場合は入力前に必ず行ってください。



1.仕訳の入力方法

本支店自動振替用仕訳データの入力手順です。必ず 前準備 1~4の作業を行ってから 入力してください。なお、税分離入力には対応できませんのでご注意ください。

財務	
*** 仕訳入力 *** ユーザ: 3000 本社 平成	
<u> </u>	11 Enter を押します。
4.1 00001 5,000 317 旅交通 101 現金 5,000	
[+1][3002]電車賃 4.1100002 8,000 318 通信費 101 現金 8,000	2. 仕訳を入力し、摘要欄の先頭に本支店科目
[+1][3003]電話料	コードの振替用補助コードを入力します。
	借方の場合[+1]、貸方の場合[-1]を入力し
	ます。
11代·沃尔 則 际 語 凵 科目 迪 於·10/ML 摘 豆球 疾 子 柵 豆球 华 設定 以小選択	」 ・
財務	
*** 仕訳入力 *** ユーザ: 3000 本社 平成	正して派り皆えが1」われません。
平成 年 4月 1日~平成 年 4月分 5% たた	////////////////////////////////////
	例)本社で横浜支店の父通貨を現金で
	支払った場合
	借方科目なので[+1]を入力します。
1頁 カナ検索・・ 補助コード・・ +1	
4 1:00002: 8:000:318:通信費: : 100.租金 : 8:000	3 [+1] を入力後 [Enter] を押します
中 + 0	
4.1 00003 6,000 317*旅交通 101 現金 6,000	
<u>F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10</u>	
FPキ-次へ 削 除 諸 口 科目 問 終・INNE 摘 谷録 漢 字 補 谷録 5% 分離 リハ曜根	

☞ 仕訳入力 平成 年 4月 1日	***: 日~平成 5	ユーザ: 3000 オ 耳 4月分	社		平成 5 %モート
■:区点 ■:かな	3 :半カナ	4:全加	₿:漢字	7:補助 8:自摘 9:	語句 🔟:辞書
3000・本社 3001・横浜 3002・名古屋		3003・大阪 3004・神戸 3005・広島		↓ 3006・九州 3007・静岡 3010・株式会社	:東京商事
1頁	カナ検索	·	補	助コード・・3	
4.100002	8,000	318 通信費 [[+	1 1[3003	101 現金 電話料	8,000
4.100003	6,000	317*旅交通	1 120000	101 現金	6,000

財務 ** 仕訳入力 ** ユーザ: 3000 本社 平成 年 4月 1日~平成 年 4月分 平成 5 % t-1 ■:区点 ■:かな ■:半肘 ■:全肘 ■:漢字 ■:補助 ■:自摘 ■:語句 10:辞書 7 バス代 1 電車賃 4 回数券 2 高速料 3 通行料 8 車代 9 タクシー代 5 通勤費 6 定期代 1頁[残10] カナ検索・・ 6,000 317 旅交通 4. 1 00003 101 現金 6,000][3002]電車賃 [+1 6,000 317*旅交通 6,000 4.1 00003 101 現金 [+1][3002] 名古屋 <u>F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10</u> FPキー次へ削 除|諸 □|科目 固|終-H0ME | 摘 登録|漢 字|補 登録|5% 分離| リスト選択

	0
4.1 00001 5,000 317 旅交通 10	1 現金 5,000
4.1 00002 8,000 318 通信費 10	1 現金 8,000
[+1][3003]電話料 4 1:00003: 8:000:217.施交通: 10	1 11
4.1,00003 0,000 017 加久進; [+1][3002]電車賃	1,000
4. 1 00004	2

2.[10701]本支店 自動振替 4.実行

拡大表示 縮小表示	前頁
<< 業務サブメニュー >>	PAGE 2/2
[F17] 特殊省	管理登録 プリンター: NPP 845
_[10701] 本支店 自動振行	塔 [10002] 科目登録 (特殊税区分) [10007] 科目コード表(特殊税区分)
	[10037] (相對於情景之((村)水)
	[10793] 摘要税マーク置換(特殊)
番号で選択してください	•. [〕 年度指定 ⊙ 無 ○ 有
1·FP4-前へ 2·開 冊	5.48.7 8.775 重 7.45 种 9.1日日6 10.99 種

- 4.右向き矢印キーを押して本・支店コード (補助コード)を入力します。
- ✓ 例)横浜支店の場合
 (右向き矢印キー)、
 3002 Enter を押します。
 - 5.摘要欄に文字入力する場合は、3.~4.の 手順の後に入力を行ってください。

6.消費税の税マーク(非課税等)を入力した場合、 本支店自動振替を実行した後に本支店科目 コードのチェックが必要です。(次頁参照)

> 振替後の仕訳チェックが頻しい場合は本支店 自動振替を実行した後に各ユーザーコードの 仕訳で消費税マークを入力してください。

- F17 特殊管理登録の画面を呼び出します。
 F1 F7 を押します。
 PageDown (後頁)キーを押します。
- 2. 左図の画面を表示します。
- 3. 10701 Enter を押します。

[10701]本支店 自動振替

 J63/21

 本支店 自動振替

 平成 年 4月 1日

 代表する

 ユーザーコード: 3000 ●株式会社 東京南事

 1:設定 2:チェック 3:チェック(印刷) 4:実行 5:実行(印刷)

 6:全履歴 7:全履歴(印刷) 8:履歴検査 9:履歴検査(印刷) 選択... 2

 対照ユーザーコード 全 8 社 (変換料目コードは 131)

 [3001] [3002] [3003] [3004] [3005] [3006] [3008] [3009]

 「3001] [3002] [3003] [3004] [3005] [3006] [3008] [3009]

 「1

 F1
 F2

 F2
 F3

 F4
 F5

 F6
 F7

 F8
 F10

 文·切替
 終 了



4. 代表するユーザーコードを入力します。 ✓ 対照ユーザーコードを表示します。

5. 選択から[4.実行]を行います。 <u>4</u> Enter を押します。

> 実行前に振替仕訳の内容を確認する場合は 「2:チェック」または「3:チェック(印刷)」を 先に実行します。

6. 実行が終了すると「完了」が表示されます。 「終了」(F5)を押してください。

- 実行後の伝票について
- 1. 本支店自動振替後の仕訳入力について 財務 ** ユーザ: 3000 本社 ** 仕訳入力 平成 確認します。 平成 年 4月 1日~平成 年 4月分 5%f~h 登録&入力の[11]仕訳入力を行います。 F6 Enter を押します。 11 5,000 4. 1 00001 5,000 317 旅交通 101 現金 [3002]電車賃 8,000 318 通信費 101 現金 8,000 4. 1 00002 3003] 電話彩 101 現金 6,000 4.1 00003 6,000 317 旅交通 [3002]電車賃 4.100004 <u>F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10</u> <u>FPキー次へ削 除|諸 □|料目 固|終-H0ME |摘 登録|漢 字|補 登録|率 設定|リスト選択</u> 2. 本支店科目コードで伝票が振替えられます。 財務 ** 仕訳入力 ** ユーザ: 3002 名古屋 平成 年 4月 1日~平成 年 4月分 平成 5%t-h 例) 本社 で 名古屋 (3002)の交通費を 現金で支払った仕訳を入力。 317 旅交通 101 現金 6,000 [+1][3002]電車賃 4. 1 00001 5,000 317 旅交通 131 本支店 5,000 本社 [3001]電車賃 4. 1 00002 6,000 317 旅交通 131 本文店 6,000 131 本支店 101 現金 6,000 [3001]電車賃 4.1 00003 [3002]電車賃 名古屋 317 交通費 131 本支店 6,000 <u>
 F4 F5 F6 F</u>
 ロ|科目 固|終・HOME | 摘 登録|漢 F8 F9 F10 F3 F7 FP+-次へ 削 除諸 字補 登録 率 設定 リホ選邦 [3001]電車賃

本社の補助コードがつきます。

自動振替データがない場合

財務メニュー(100	01)								
本支店 自 代表す ユーナ	動振替 する ザーコー	۲: 3001	本社				平成	年4月日	
1:設定 6:全履 未処理 デ	- 2:チェ 歴 7:全開 ーターは	ック 3:5 夏歴(印刷 ありませ	・ エック) 8:履 [】	(印刷)4: 瑟検査 9:8	実行 5:5 夏歴検査(実行(印席 印刷)	』) 選択	2	
y可用有二 [3001]	[3002]	[3003]	全 8 [3004]	7± (3 [3005]	£3006] [3006]	[3008]	[3009]		
<u>F1</u> プ・切替	F2	<u>F3</u>	F4	F5 終了	F6	F7	F8	 F9 科日替	F10

一 自動振替するデータがない場合、左図のように 「未処理データはありません」と表示します。

選択項目について

1. 設定 前準備の作業で代表するユーザーコードを入力します。 . . . 2. チェック 振替作業を行った場合の内容を実行前に画面で確認ができます。 ... 3. チェック(印刷) ... 2.の内容を印刷します。 ... 本支店自動振替を実行します。 4. 実行 5. 実行(印刷) ... 4.で実行した内容を印刷します。 ... 今までに4.で実行した内容と日付を画面表示します。 6. 全履歴 ... 6.で表示される内容を印刷します。 7. 全履歴(印刷) 自動振替後に仕訳入力で訂正した伝票をチェック。 8. 履歴検査

3.消費税マークの確認方法



 左図のように自動振替前に消費税マーク を入力している場合、自動振替後の本支店 科目の仕訳の修正が必要です。

F10 条件選択リストを表示します。
 F10 を押します。

- 条件選択リストを選択します。
 Enter を押します。
- 4. 科目コードに本支店科目を指定します。
 初期値は131です。
 Enter 後、確定を押します。
- 5. 表示された中から消費税コードを 確認します。
- 左図のように、本支店科目の金額に税マーク がついている伝票は Enter を押して 呼び出し修正します。
- 12. Enter を押して進みます。 最後まで送ると消費税マークが消えます。 (本来消費税マークがつかない伝票です)

Pagedown」を押して消費税マークが入って いる仕訳をすべてチェックしてください。

- 財務 ** 仕訳入力 ** ユーザ: 3002 名古屋 平成 年 4月 1日~平成 年 5月分 平成 5%t-1* 131 本支店 5. 1 00001 8,000 318 通信費 8,000 [3001]電話料 10,000 319 交際費 10,000 5.100002 101 現金 : [+1][3005]香典 閿 5. 1 00003 選択 1111 科目計 2.日計 3.条件選択 4.仕訳リスト 5.簡易元帳 6.科目別補助 F5 F6 F7 F8 F9 F10 リスト選択 招払し」-(1004) ** 条件選択リスト ** 月日.....[4.1-期 末] 2. 伝票NO.....」] 銀行補助...[]1.借方 2.貸方 3.両方...[3] 3. 4. 相手コード...... →銀行補助...[] 5. 金額.....[] 1.借方 2.貸方 3.両方...[3] 1.借方 2.貸方 3.両方...[3]] 1.借方 2.貸方 3.両方...[3]] 1.借方 2.貸方 3.両方...[3] 6. 7. 8. 補助コード...① {[] [] [] [] [] [] [-かつ② {[-][補助名称......[1] 1.コード _ 1} 9 2.コードと明細 3.明細のみ 1 10. 摘要.....[2.3% 11. 税分離モード.....[1] 1.両方 3.5% 12. 出力順......[1] 1.入力順 13. 出力......[1] 1.画面 2.日付順 2.プリンター 3 ファイル
- オ務メニュー(1004) 条件抽出終了 ** 条件選択リスト ** 5%t-1 4. 1 00001 5,000 5,000 317 旅交通 131 本支店 [3001] 4.7 00002 5,000 317 旅交通 | 131 本支店 5,000 [3002] 4.12 00003 7,410 317 旅交通 7,410 | 131 本支店 [3002] 5. 2 00001 2,000 131 本支店 501 売上高 2,000 [3001]本日売上 7.200001 8,000 318 通信費 131 本支店 8,000 [3001]電話料 10,000 131 本支店 10,000 7.5 00002 101 現金 閿 [3005]香典 <u>F1 F2</u> プ・切替|削 除|
 F4
 F5
 F6
 F7
 F8
 F9
 F10

 F3

 F3
 F4
 F5
 F6
 F7

 ブンマッチ
 入力へ
 終・HOME
 確
 定 項目NO

<u>---</u> プ・切替 F9

F8

F10

財務メニュー(1004)					
					F 0/ #~1*
					3 70 C P
7 5 00000	10.000	000 8000			10.000
7.50000Z	10,000	322 租税公	 (2006]未伸	101 現金	10,000
7 5 修 正	10.000	131 本支店	[3005]省兴	· 101 現金	10,000
	10,000	3005]香典		101 -June	10,000
				D 7 D 0 D	
	13	<u> ド4</u> ド5 一日。 19月 11010日	년년 1911년 - 1년	17 17 9기부 11년 7	스해 한다. 환
<u>ノ 97百円 </u>	A	_/J*丶 称☆*nUMD	コーフ ツマド 侠		刀向山小十日「司」

4.[38]消費税自動精算 について

月次または年次で消費税計算を行う場合は、 必ず[10701]本支店 自動振替 を実行した後に行ってください。



本支店自動振替前に自動精算を行った場合

期末 00001	523	127 仮払税			317 旅交通	52
眼 末 10002	380	127 仮扒樽		5%	318 通信費	<u>1</u> 35
期末		101 0/14100	度波	5%		10

 誤って本支店自動振替を行う前に 消費税自動精算を行ってしまった場合 は月次および年次消費税伝票を削除後 自動振替を行います。

期末 00001	523	127 仮払税		317 旅交通	523
明末 00002	380	127 仮払税	<u> </u> 座図 5%	318 通信費	380
期末			<u> </u>		

財務メニュー(1001)

2. 月次もしくは年次の伝票をまとめて削除 します。

F1 F10 連・削除 を押します。

 5. 左図の画面を表示します。 ** 連結仕訳データ削除 ** 月日の指定は月次であれば、1ヶ月 削除データ指定 期間指定します。 1. 月日...... 2. 伝票NO...... 3. 科目コード...... 4. 相手コード...... 5. 金額(倍・質)[,] 銀行補助...[/] 1.借方 2.貸方 3.両方] 銀行補助...[/ 例) 5月の場合 [5.1-5.31]]] 補助コード...① {[かつ② {[] [] [] [] [6.][-][-_]} 7. 摘要......[∎ 8. 税分離モト*......[] 1.両方 2.3% 3.5% 4. カーソルを摘要欄まで Enter または | | で移動してください。 F6 F7F10 F3 F4 F5 F8 F9 プ・切替 税マーク アンマッチ 入力へ 終 HOME 確 定 項目NO オ務メニュー(1001) 5. |税マーク | (F2) を押します。 ** 連結仕訳データ削除 ** 削除データ指定 月次の場合 ... 17: 月次 1. 月日......[5.1-5.31] 2. 伝票NO......[J 3. 科目コード......[] 鎖 年次の場合 ... 16: 年次 ,] 銀行補助...[/] 1.借方 2.貸方 3.両方...[3] 4. 相手コード.....[5. 金額(借・貸)....[6. 補助コード...①{[] 銀行補助...[/] を選択します。 1] [] [] [] [] []} かつ② {[-_]} 7. 摘要.....[1 例)月次の場合 | 17 || Enter | と押します。 1:122 2:153 3:323 9:182 10:183 11:333 5:関 6:四 7:例 8:11 12:圖 13:圖 14:休 15:潤 画面が変わるまで Enterを押してください。 16: 匡波 17: 匠波 18: 栖田 99:全マーク[] F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 タ・切替(税マーク」)アンマッタ「入力へ |終・HOME|確 定|項目N0 | F9 F10 F8 オ発えニュー(1001) 6. 左図の画面が表示されます。 ** 連結仕訳データ削除 ** 5.31 00004 523 127 仮払税 523 | 317 旅交通 380 127 仮払税 5.31 00005 318 通信費 380 ✔7. 削除を実行する場合は|実行|(F7)を2回 互皮 5% 押します。 8.削除が終了すると最初の画面に戻ります。 9.[10701]本支店自動振替 を実行してから [38]消費税自動精算を行ってください。 F6 F7 / F8 F9 F10 F1 対象外 入力へ 終<u>·HOME</u> (実 行) |先頭頁||最終頁